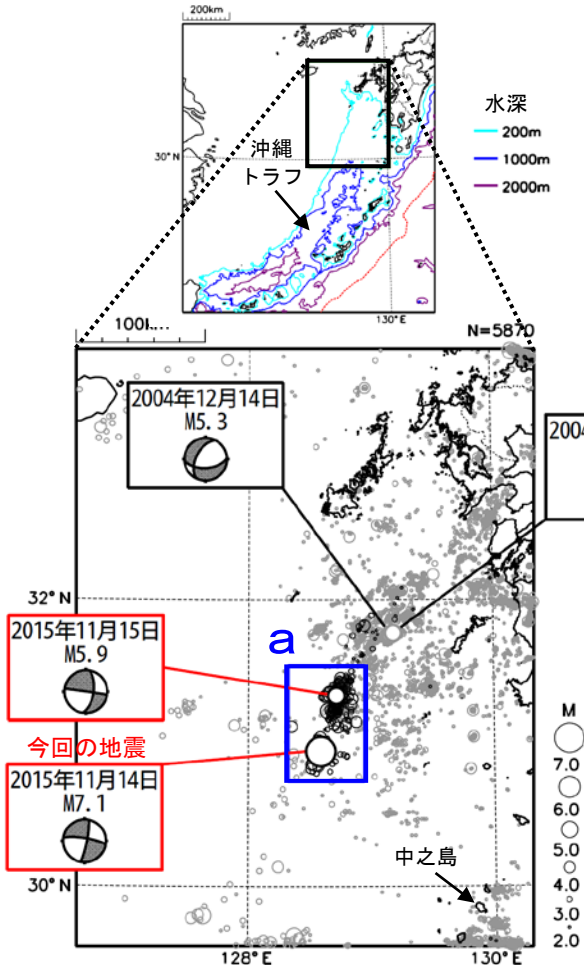


11月14日 薩摩半島西方沖の地震

震央分布図*

(1997年10月1日~2015年11月22日、
深さ0~30km、 $M \geq 2.0$)

2015年11月の地震を濃く表示、図中の発震機構はCMT解
寒色系の細い線は水深のコンターを示す



2015年11月14日05時51分に薩摩半島西方沖でM7.1の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は、北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

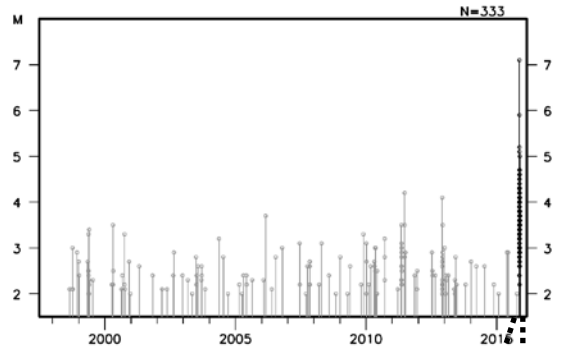
気象庁はこの地震について、種子島・屋久島地方、奄美群島・トカラ列島、鹿児島県西部に津波注意報を発表し、トカラ列島の中之島で0.3m(速報値)の津波を観測した。

今回の地震の発生後、15日04時20分にM5.9の地震(最大震度3)が発生するなど、最大震度1以上を観測する地震が22日までに14回発生した。

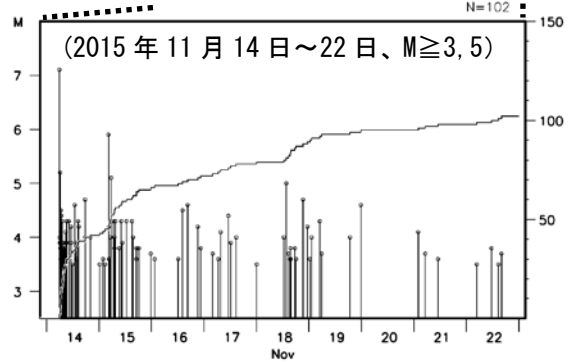
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M4.0前後の地震が時々発生していたが、M5.0以上の地震は発生していなかった。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0前後の地震が時々発生しており、1928年6月3日にはM6.6の地震(最大震度5)が発生している。

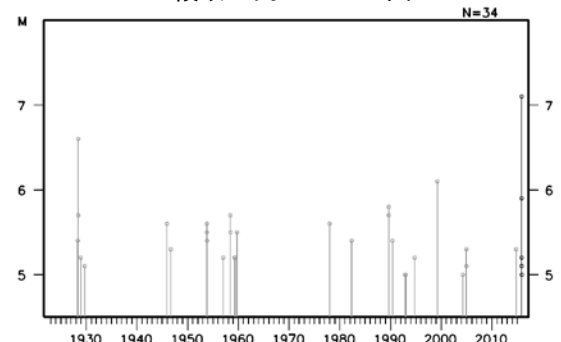
領域a内のM-T図*



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



※ 2015年11月14日05時51分以降は未処理のデータがある(M3.5未満)。

震央分布図

(1923年1月1日~2015年11月22日、
深さ0~60km、 $M \geq 5.0$)

2015年11月の地震を濃く表示

